

外来医長のご挨拶

鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学 外来医長 川添 晋



先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

いつも鹿児島大学心臓血管内科の外来診療にご協力いただきありがとうございます。

当科は、鹿児島県下唯一の大学病院として心臓・血管に関する幅広い疾患の診断と治療を行っております。それぞれの専門チームが最新の医療技術と知識を駆使し、患者様一人ひとりに合った丁寧な診療を心がけております。外来は、月～金まで毎日5～6診療室を設けて診療にあたっており、各種専門外来（難治性高血圧、心不全、冠動脈疾患、TAVI、弁膜症、不整脈、肺高血圧、成人先天性心疾患、脂質異常・動脈硬化、末梢血管疾患、VAD管理、女性外来など）を設置し、ご紹介いただく先生方のニーズに細やかに応えられるような体制作りを行っております。入院精査・加療が必要な場合、当院は心血管病低侵襲治療センターが開設されており心移植以外のすべての治療が可能となっております。患者様に多くの選択肢を鹿児島県内で提示できることは大変有意義であると考えておりますので、お気軽にご相談いただければ幸いです。その他、循環器一般外来も設けておりますので、カテゴリーがはっきりしない、あるいは複合した問題をお持ちの患者様については、こちらにご紹介頂ければ幸いです。

各検査については、心血管エコー検査においては、虚血性心疾患や弁膜症、肺高血圧症など各種循環器疾患、他科の術前心機能評価、腎動脈や下肢動脈、DVTチェックなどの血管評価、その他幅広い疾患の評価を、紹介いただいたその日に施行可能です。冠動脈CTは毎日、心臓核医学検査は週2日（月、木）の検査が可能で、お待たせすることなく予約が可能となっております。急患につきましては、紹介方法欄のとおり、通常紹介と異なり電話にてご連絡いただければ、早急な対応をさせていただきます。

令和6年度には新しい外来診療棟がオープンいたします。快適な待合室と診療環境のもと、患者様や先生方のニーズに応えられるようより一層努力していく所存です。外来診療体制・診療連携についてご意見・ご要望などありましたらいつでもご連絡ください。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

心臓血管内科への紹介方法

FAX 新患予約（平日 9:00～17:00）

初診紹介患者予約申込書に必要事項を記載し、FAXで予約の申し込みをお願いします。（受付時間外（平日 17時以降・土曜・日曜・祝日含む）のお申し込みは、原則として翌診療日の対応となります。）

◆医務課外来初診予約担当

FAX：099-275-6698 TEL：099-275-5168（電話対応は平日 9:00～17:00のみ）

予約申込書は下記にてダウンロードできます。

（鹿児島大学病院ホームページ→「医療関係者の方へ」をクリック） <https://www.hosp.kagoshima-u.ac.jp/medical/shoukai/>

時間内（平日 8:30-17:15）

◆緊急受診：ハートコール 099-283-9230 ◆検査予約・その他：099-275-5731（内科外来→心臓血管内科当番医）

時間外（平日 17:15-8:30, 土日祝日）

◆緊急受診：099-283-9350（救急部当直）

Information

第9回 桜ヶ丘循環器カンファレンス *事前申し込み制（締切：現地参加 10/19・WEB視聴 当日開始時刻）

【日時】2023年10月21日（土）16時～

【会場】鹿児島県医師会館 4階 大ホール（ハイブリッド形式）

◀特別講演▶ 奈良県立医科大学 循環器内科学 教授 彦惣 俊吾 先生

「心不全治療に関する最近の動向について」

↑参加申し込みはこちら↑
（現地参加 or WEB視聴）



症 例 提 示



症例 1：虚血性心筋症による心室性機能性僧帽弁逆流

【患者】88歳 男性

【現病歴】X-10年, 急性心筋梗塞（前壁中隔）にてA病院でPCI施行。X年1月, 慢性心不全急性増悪を来し, A病院にて入院治療。冠動脈造影では新規病変なく保存的治療にて退院。同年2月下旬, 再び夜間呼吸困難が出現。慢性心不全急性増悪の診断で再入院。TTEにて高度MRを認め, 当科紹介。

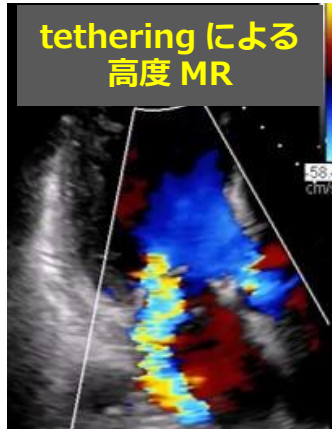
【TTE 所見】

LVDd/Ds 71/68mm, LAD 42mm, LVEF 29%,
MR 逆流量 54mL, 逆流率 64%

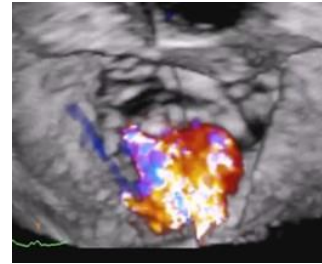
【治療内容】X年8月, MitraClip®を実施。



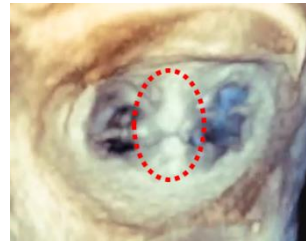
前壁中隔 OMI



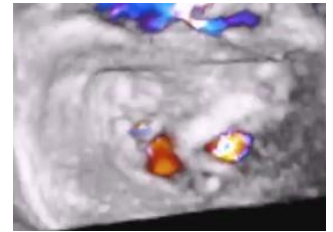
tethering による
高度 MR



左房から見た
幅広い MR



中央に Clip を留置



MR 軽度に減少

【治療経過】

術後1年以上, 心不全入院なく経過。

症例 2：慢性心房細動による心房性機能性僧帽弁逆流

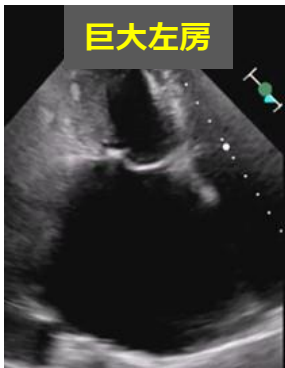
【患者】83歳 女性

【現病歴】独居。X-2年から, B病院へ計4回の心不全入院。X年3月, 5回目の心不全入院, 2ヶ月間入院し, 内服調整後もトイレ歩行程度で息切れを自覚。何とか自宅に帰りたい。高度MRを認め, 当科紹介。車椅子で診察室に入ってくるが, 息切れのため会話が途切れがち。

【TTE 所見】

LVDd/Ds 40/25mm, LAD 76mm, LVEF 70%
MR 逆流量 61mL, 逆流率 64%

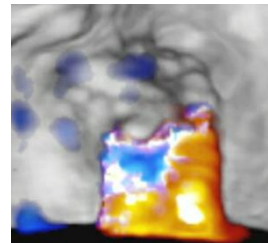
【治療内容】X年2月, MitraClip®を実施。



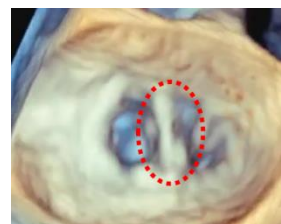
巨大左房



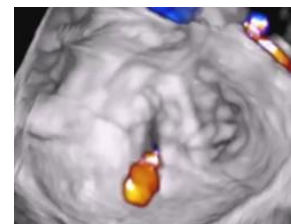
後尖 tethering
による高度 MR



左房から見た後方へ
偏位する幅広い MR



中央に Clip を留置



MR ごく軽度

【治療経過】

術後4ヶ月後, リハビリを経て自宅退院。

独居生活を継続中。

平素より多くの患者様を鹿児島大学病院心臓血管内科へご紹介頂き感謝申し上げます。
今回はご紹介いただき MitraClip®を実施しました3症例につきまして報告いたします。

症例3：後尖 P3 逸脱による**一次性僧帽弁逆流**（+VFMR）

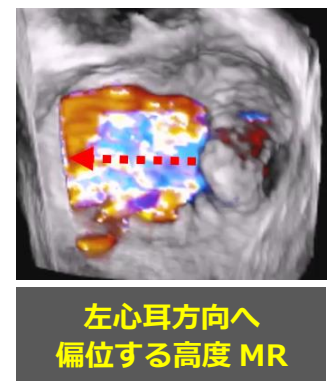
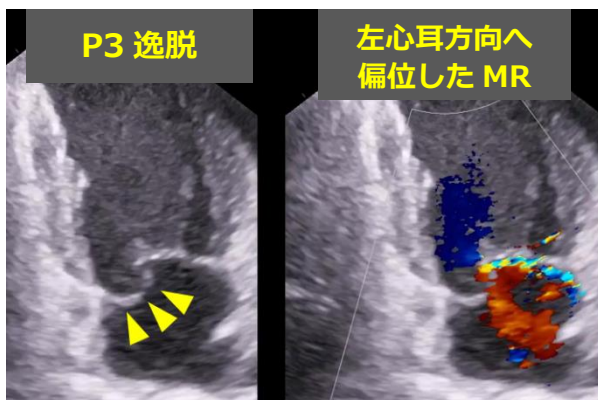
【患者】64歳 男性

【現病歴】X-20年、LAD領域心筋梗塞にてPCI。慢性期冠動脈CTではステント近位部より完全閉塞も保存的治療を継続。X年5月、起坐呼吸あり、C病院へ救急搬送、心不全増悪の診断で入院。LVEF 21%の低心機能のためDOB持続静注を併用したが、漸減したところ血圧低下、LOS症状が出現。高度MRに伴い、心臓血管外科へ相談。低心機能で心筋バイアビリティないため開心術リスク高く、MitraClip 検討のため当科紹介入院。ピモベンダン導入にて、何とかDOB中止。

【TTE 所見】

LVDd/Ds 75/65mm, LAD 58mm, LVEF 21%
MR 逆流量 59mL, 逆流率 69%

【治療内容】X年8月、MitraClip®を実施。



【治療経過】

術後8日目、カテコラミンフリーのまま自宅退院。



MitraClip®は、様々な形態の僧帽弁逆流を治療可能です。

また安定期に MR が少なくとも、心不全増悪期に MR が増強するケース “Dynamic MR”
にも MitraClip®は非常に有効と言われており、運動負荷エコーなどで評価可能です。

心不全入院を繰り返して困っている患者さんがいらっしゃれば、是非、御相談ください。

弁膜症・卵円孔開存・心房中隔欠損の患者様のご紹介をお待ちしております。
ぜひご紹介下さい。

『弁膜症専門外来』 担当医：堀添(火)木・安田(月)金

♥♥♥ 心臓血管内科 外来担当表 ♥♥♥

外来医長：川添 晋 副外来医長：安田久代

外来受付は完全予約制（午前のみ）初診・再診ともに曜日に関わらず診察いたします。

※専門外来のご案内：専門的な診察・治療をご希望の患者様のために、下記専門外来を設けています。

肺高血圧(月), TAVI(火), 高血圧・動脈硬化(水), 腫瘍循環器(木), 末梢血管疾患(月・木), 冠動脈疾患(月・火), 不整脈(月・水), 心不全(火・金), 成人先天性心疾患(火・水・木), 弁膜症(月・火・木・金)

※術前精査のご依頼は、予約時にお伝えください。

※急変時など、状態が不安定で緊急に対応が必要な患者様の場合は、内科外来（099-275-5731）にお電話下さい。当番医が対応いたします。

(2023年4月～)

	担当医	専 門	特殊外来	特殊検査
月	宮田 池田 安田 窪田 神田 吉元	高血圧・動脈硬化 高血圧・動脈硬化・末梢血管疾患専門外来 弁膜症専門外来 肺高血圧専門外来 冠動脈疾患専門外来 不整脈専門外来	心エコー：堀添	心筋シンチ：上坊 CPX：窪菌
火	大石教授 嘉川 窪菌 神田・田端 神田 堀添 毛利	教授外来・難治性高血圧 女性外来 心不全専門外来 TAVI 外来 冠動脈疾患専門外来 弁膜症・成人先天性心疾患専門外来 循環器一般	心エコー：濱元	CPX：小島
水	窪田 赤崎 二宮 川添 濱元	肺高血圧(再診のみ) 高血圧・動脈硬化専門外来 不整脈専門外来 心不全 成人先天性心疾患専門外来	心エコー：堀添・安田	
木	池田 堀添 川添 柴田	高血圧・動脈硬化・末梢血管疾患専門外来 弁膜症・成人先天性心疾患専門外来 心不全 腫瘍循環器専門外来	心エコー：安田・濱元 VAD：窪菌・小島	心筋シンチ：迫田 CPX：川添
金	大石教授 安田 窪菌 赤崎	教授外来・難治性高血圧 弁膜症専門外来 心不全専門外来 高血圧・動脈硬化		CPX：山口

ご案内

家族性高コレステロール血症（FH）の遺伝子診断を 鹿児島大学で行うことができるようになりました

原発性脂質異常症の14疾患の解析が可能です（KUBIX社にて委託解析）
2mLの採血、4-8週間で解析 検査：5000点（FH）

遺伝子診断は、以下のような診断に苦慮する場合に有用です

- ・ LDL-C 基礎値が不明で脂質治療薬内服中
- ・ 家族歴が明確でない場合
- ・ 若年または既に内服薬治療でアキレス腱肥厚の評価が困難な場合

(水)金 赤崎が担当しております。ご興味のある方、ご不明な点は、赤崎
yuichia@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp までお問い合わせください。